地域文化シリーズ 19

郷土愛

清水希容子
一般財団法人日本経済研究所　地域未来研究センター　研究主幹

海草中、星林高校をはじめとした「野球王国・和歌山」の尾藤公氏（箕島高校元監督）が今年３月に亡くなられ、大きなニュースになった。1970年代の甲子園を舞台に、記憶に残る熱闘を繰り広げた、あの時、あの場面に感動した人は多い。

高校野球は、今年で春の選抜83回、夏の選手権93回を迎えるもっとも伝統ある地域対抗戦だ。約４千校、約16万人の球児たちが、甲子園の頂点を目指す。ほとんどが野球少年だった時代、いつかは甲子園の土を踏みたいという夢を誰もが抱いていた。

地方の学校には、都会の学校に対して野球なら負けないぞ、甲子園に出て名を売ろう、という強い意識が働いた。なるほど、高校野球とは、阿久悠の「甲子園の詩」のように、純粋なひたむきさが作り出すドラマに胸打たれると同時に、「郷土愛」を目覚めさせる一大地域イベントなのだ。

戦前からの優勝校は（地図参照）、西高東低である。1949年の湘南高校の優勝までは、優勝旗は箱根の山を越えないと言われていた。現在は、東北や北陸に届かないが、関東、北海道に優勝の喜びが広がった。日本が豊かになるにつれ、学校は、全国から優秀な選手をスカウトして広告塔にしようとしたり、選手たちは、プロに進むステップにしようと考えたりするようになった。度がすぎると、見ている方も興味が薄れてしまい、尾藤監督が、地元出身の選手たちと郷土への思いを胸に甲子園を目指した頃が懐かしくなる。

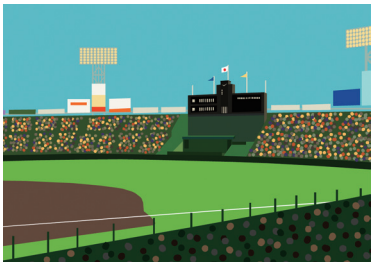
2009年春、地元出身の選手たちの溌剌としたプレーで決勝まで勝ち進んだ花巻東高校（岩手）が話題になった。大会期間中に、湧きあがる期待をつなぐように多くの寄付金が集められ、甲子園行きの応援バスツアーがプラチナチケットに、凱旋時は、駅前から体育館まで、大きな拍手と声援に出迎えられて、久しぶりに街中が活気づいた。

なぜ、高校野球はいまだに盛り上がるのだろう。それは地方大会から始まる。「今年は県でベスト４入りしている」と先輩がうれしそうに話す光景がよくある。さようにに、まずは「母校」を応援する。県外在住でも、全国紙に小さく載る地方大会の結果を見て、対戦スコアの下に出ていないかを心配して目をやる。自身にとっての一大事だ。残念ながら母校が負けてしまうと、次は隣の学校、そこも負けてしまうと隣町の学校と、個々の単位から広がっていく。身近にない学校が地方大会で優勝したときに一旦関心は薄れるが、甲子園に舞台が移ると、あらためて地元代表を応援する。

そのような郷土愛はどこからくるのだろう。住んだことがある、家族がいる、父母が暮らす、友が働く、いまの自分が在るなど、きわめて人間的な感情。「故郷（ふるさと）は遠きにありて思うもの　そして悲しくうたうもの……」（室生犀星）、「ふるさとの訛なつかし停車場の人ごみの中にそを聴きにゆく」（石川啄木）、ふるさとの恩師の言葉を胸に勝負に挑む大リーガー。外に身を置いたとき、内から遠くなるほど、時間がたつほど、「郷土愛」は深まってくる。

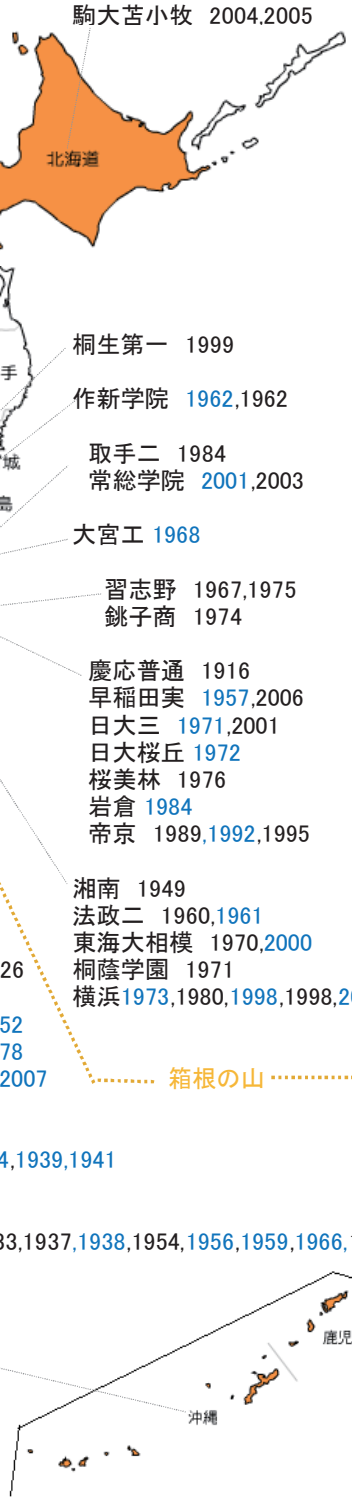
その思いの断片が、高校野球の中に投影される。当研究所の大川澄人理事長の母校・韮山高校（静岡）はかつて一度だけ全国優勝した（1950年春）。「その誉をいつまでも、上着の胸ポケットに大切にしまっている。」と話す。

郷土愛は、地域の未来の源流である。



高校野球 優勝校
（戦前からすべて）

数字は優勝年
青字は、春の選抜大会（1924年～2010年）
黒字は、夏の選手権大会（1915年～2010年）



駒大苫小牧 2004,2005

神戸一中 1919
関西学院中 1920,1928
甲陽中 1923
神港商 1929,1930
芦屋 1952
洲本 1953
報徳学園 1974,1981,2002
東洋大姫路 1977
育英 1993

広島商 1924,1929,1930
1931,1957,1973,1988
広陵中（現広陵） 1926
広陵 1991,2003
呉港中 1934
崇徳 1976

柳井 1958
下関商 1963

佐賀商 1994
佐賀北 2007

小倉中（現小倉） 1947
小倉 1948
三池工 1965
西日本短大付 1992

清峰 2009

高松商 1924,1925,
1927,1960
観音寺中央 1995

済々黌 1958

津久見 1967,1972

鹿児島実 1996

松山商 1925,1932,1935,1953,1969,1996
松山東 1950
西条 1959
宇和島東 1988
済美 2004

高知 1964,1975
高知商 1980
伊野商 1985
明徳義塾 2002

岡山東商
1965

京都二中 1915
平安 1938,1951,1956
京都一商 1948

岐阜商 1933,1935,
1936,1940

松本商 1928
飯田長姫 1954

四日市 1955
三重 1969

天理 1986,1990,1997

徳島商 1947
鳴門 1951
徳島海南 1964
池田 1982,1983,
1986

和歌山中 1921,1922,1927
海草中 1939,1940
箕島 1970,1977,1979,1979
智弁和歌山 1994,1997,2000

静岡中 1926
韮山 1950
静岡商 1952
浜松商 1978
常葉菊川 2007

浪華商（現浪商） 1937,1946,1955
浪商 1961
北野 1949
明星 1963
興国 1968
PL学園 1978,1981,1982,1983,1985,1987,1987
近大付 1990
大阪桐蔭 1991,2008
上宮 1993

愛知一中 1917
東邦商（現東邦） 1934,1939,1941
東邦 1989
愛知商 1936
中京商*1931,1932,1933,1937,1938,1954,1956,1959,1966,1966
中京大中京* 2009
愛工大名電 2005

沖縄尚学 1999,2008
興南 2010,2010

桐生第一 1999
作新学院 1962,1962

取手二 1984
常総学院 2001,2003

大宮工 1968

習志野 1967,1975
銚子商 1974

慶応普通 1916
早稲田実 1957,2006
日大三 1971,2001
日大桜丘 1972
桜美林 1976
岩倉 1984
帝京 1989,1992,1995

湘南 1949
法政二 1960,1961
東海大相模 1970,2000
桐蔭学園 1971
横浜1973,1980,1998,1998,2006

箱根の山

＊㈶日本高等学校野球連盟資料より、㈶日本経済研究所にて作成
＊当地図は、地域未来研究センター「地域データ図書館」のホームページにて拡大してご覧になれます
＊愛知県の中京商は、1995年に中京大中京に改称